

第2回 道連理事会開催報告

8月5日(木)ホテルポールスター札幌を会場に蔓延防止措置の発令のため、オンライン併用での開催となりました。

議長にコープさっぽろ吉田理事が選出され、冒頭、麻田会長挨拶を受け議事に入りました。

議決事項①2021年度役員報酬決定の件は前年同額の明細にて②マイボトルエコアクション・海岸クリーンアップ活動参加呼びかけの件は、会員生協へマイボトル使用と一斉海岸クリーンアップ活動日への参加要請を③次回理事会の開催については、web会議対応の会場利用を含め、了承されました。

審議事項では①第4波のコロナ禍の事業への影響と対応について②北海道生協連65周年記念ブックレット原稿の件-作成計画について③LPガス問題を巡る状況変化と今後の取り組み方針について「LPガス問題を考える会」再開による社会的アピールと学習資料

の作成へ④灯油の安定供給・福祉施策要求への取り組みについて、原油価格推移での灯油価格高騰の際に対応すること⑤宮城県生協連・福島県生協連等が呼びかけのアルプス処理水海洋放出反対署名への取り組みについては他団体とのオンライン学習会開催等を踏まえ取り組み方を決定することの方針が了承されました。

報告事項は、以下の件についてなされました。①一般活動経過報告②道連総会報告③2021年度第1四半期決算速報④ろうきん・コープさっぽろ・北海道生協連3者懇談会報告について⑤協同組合ネット北海道総会以降の取り組みについて⑥こども食堂北海道ネットワーク支援の進捗⑦ほっかいどう若者応援PJの進行と以降の取り組みについて⑧成人年齢引き下げによる消費者被害啓発の連携⑨北海道生協連運動史増補改訂版完成配布に関する件⑩北海道他報告⑪友好団体他⑫日本生協連北海道・東北地連報告

お知らせ！協同組合ネット北海道事務局会議で取組確認 Vol.8

8月10日(火)コロナ感染防止の為、オンラインにて事務局会議が開催されました。

事務局団体：JA中央会・ホクレン・コープさっぽろ・労金・漁連・森連・ワーカーズコープ・道生協連
以上8団体。

<協議事項>

1. 共通推進テーマ

- 地域社会づくり(社会貢献活動) <生協連>
 - こども食堂学習会について
 - *開催日時：9月8日(水)
 - *テーマ「こども食堂の現状、課題等」について
 - ゆる元指導員講習会開催について
 - *開催日程、10月4日(月)と11日(月)の2日間での開催提案
- 環境対策 <コープさっぽろ・ホクレン・漁連>
 - 環境対策チーム活動計画ならびにエコセンター利用の進捗状況について
 - *エコセンター利用の進捗状況については、運賃負担の軽減に向けた協議を続けており、引き続き持ち込みスキームの検討を行い、物流利用の可否について検討を続けていく。
- 災害支援対策 <ろうきん>
 - 災害支援対策について

*災害時における連絡先集約について *協同組合ネット北海道災害時連絡先一覧 *協同組合ネット北海道緊急連絡体制 *北海道災害ボランティアネットワーク会議の意見とりまとめ *北の国災害サポートチームの「被災者・被災地支援活動指針」

2. 個別推進テーマ

- 金融部門の3団体の打ち合わせについて <ろうきん>
 - *JA信連、JF信漁連、ろうきんの3者で金融簿門として、連携・協同できる活動がないか、内容をまとめ9月8日(水)の事務局会議で報告の予定。
- 公開講演会の開催について(案) <ろうきん>
 - ◇開催日時：11月26日(金)13:00～14:30(予定)
 - ◇講師：浜田 敬子 氏(ジャーナリスト)

3. その他

- 労働者協同組合法制定記念フォーラム実行委員の対応について <生協連>
 - *労金の榎田氏が委員として参加することを確認。
- 「国際協同組合デー記念中央集会」にかかるアンケート結果について <JA中央会>
- 農水省「みどりの食料システム戦略」について <JA中央会>



「平和のつどい」を北海道ノーモア・

ヒバクシャ会館で開催

コープさっぽろ組合員活動委員会は、2021年8月3日(火)に北海道ノーモア・ヒバクシャ会館から、オンラインで「平和のつどい」を開催いたしました。



ヒロシマ、ナガサキに次ぐ全国で3番目の原爆資料館が札幌にあることをもっと多くの組合員に知らせること、そして、その場所で平和について考えることに意義があると考えました。参加者は、会館が10名と子ども2名、また全道各地からオンラインで40名の合わせて52名が参加いたしました。

組合員活動と会館建設のかかわり

1992年に被爆者と市民運動が作った民間で初めての原爆資料館は、今年で30年をむかえました。会館建設には、コープさっぽろの組合員活動も募金活動に協力していたことも知りました。1992年度の総代会



議資料には、組合員9,911人の参加で370万円の募金額と記載されております。その記念の年に、北海道にお住まいの被爆者の証言を聴き、会館内の貴重

な展示物の紹介をしていただくことができました。開催にあたりましては、北海道被爆者協会 事務局次長の北明邦雄様に変にお世話になりご協力いただきました。ありがとうございました。

「平和のつどい」プログラム

1. DVD「原爆10秒の衝撃 ヒロシマ」鑑賞
2. 被爆の証言：語り部/金子廣子さん
3. ノーモア・ヒバクシャ会館・展示品紹介(事務局次長/北明邦雄さん)
4. DVD「レンガ募金の証言」/コープくらしの助け合い会/中川富子さん
5. 峠三吉「原爆詩集」の朗読/「えほんよみきかせ隊」斎藤衣里さん

「平和」担当理事よりメッセージ

コープさっぽろ組合員活動委員会の「平和」担当の組合員理事 櫻木真紀さんは、「語り部の金子さん、展示品のエピソードを紹介いただいた北明さん、朗読の斎藤さん、本日はありがとうございました。この平和のつどいをきっかけに、平和への想いを深め、平和のバトンを次の世代へとつないでいきましょう」と参加者にメッセージを送りました。



「LPガスの取引透明化問題学習会」報告 ～問題点の共有化進む～

8月5日(木)、全国消団連主催オンライン学習会が全国100人を超える視聴者参加で開催され、LPガス取引の到達点と今後の取組み課題が提起され、参加者からは、知らないことが沢山あった、系統的で大変分かりやすい学習会との声が寄せられました。

学習会では、①資源エネルギー庁石油流通課 橋爪企画官より「賃貸集合住宅への無償貸与問題等の取組みについて」②国際大学院国際経営学研究科教授 橋川先生より「LPガス取引適正化の到達点と課題」の二本の基調報告と消費者団体より神奈川県消費者団体連絡会)の「2021年LPガス調査」まとめ、消団連より「LPガス販売に関するアンケート調査結果報告」、北海道生協連より「消費者目線の現状認識、調査・活動報告」を行いました。

学習会の参加状況は、去年の倍の100人に広がり、LPガス関係者(都道府県レベル)の参加者が多くみられ、またマスコミ関係者朝日新聞・毎日新聞・道新・業界紙の視聴があり、社会的アピールの場となりました。

た。報告の後、意見交換もあり到達点と今後の課題が提起されました。

【到達点】①LPガス取引を巡る二つの問題、「取引適正化」「料金透明化」⇒いずれも全国的に波及②2017年「取引適正化ガイドライン」制定で残された課題 a. 行政指導で実効性が十分ではないこと b. 焦点が料金透明化にあり、賃貸住宅の「無償貸与」問題への掘り下げが弱い事

【今後の課題】a. 三部料金制の導入 b. 複数省庁の連携 c. 消費者の積極的関与の必要性 d. 行政・業界・消費者による特商法と液石法、関連業界の監視等が提起されました。

エネ庁の主導で、国交省・消費者庁との協議が進み、LPガス問題の「潮目が変わり」山が動く可能性が出てきました。引き続き「LPガス問題を考える会」に結集し、LPガス販売の透明性確保と適正価格実現に奮闘します。